

M E E T

Miyako Environmental Education Times

発行：環境教育プロジェクト

平成25年(2013年)7月1日(月)

第67回の「環境教育ミーティング」は長岡京市の後援をいただき、長岡京市立公民館と共催で、5月16日(木)に開催し、講師の木本直樹さんには「市民活動でめざす環境の都・ステップ・アップ・チャレンジ」と題して話していただきました。

長岡京市では、これまでも市民環境団体や、事業所、学校など、地域のみなさんが様々な形で環境への取り組みを進めてこられました。その中には、中央商店街の自作LEDランプや、神足小学校の地域連携の環境教育など、全国に発信された先進的な活動も見られます。

67回、10年以上継続してきたこの環境教育ミーティングも、多くの方々に環境問題について考えてもらうきっかけとなりました。“環境の都”長岡京を目指すために、地域から発信できる取り組みやその在り方について考えました。



参加者の感想

1

基本計画が如何に市民・企業・各種団体の協力を得て実行できるか、難しいことですが、挑戦するしかないと思います。自治会と行政が、なんとか連携できないか、私の夢かもしれません。長岡京市では立派な環境の都づくり会議のプロジェクトが

有り、かつ活動をされています。教育面でも実績が多く示されています。やはり、これらの成果を多くの市民に知らせ、賛同を得て、参加を促し、市民力をアップしていきたいものです。

初めての参加でしたが、そうそうたる参加者で構成されたミーティングで安堵させていただきました。課題の解決に、かぎりは有りませんが、益々の活躍を期待しています。



2

行政の立場から、市全体の環境の取り組みの実務を推進され、様々の団体との協力、共に尽力され、環境の都づくり会議の活動に多大な支援を頂きました。それらの取り組みを映像を通して、詳しく紹介していただき、改めて活動を振り返ることが出来ました。



3

市民の相談を持ちかけると、直ちに対応していただき、その速さに感心、感動、感謝しています。今回の発表で自分の参加していない環境活動がたくさんあり、市民の皆さんがいろんなところで長岡京市の環境保全、改善に努力されていることがよくわかりました。

